

②レクリエーション系統

●自然とのふれあいができる緑

- ・市域を流れる木曾三川は河口部にあたるため、緩やかな流れのなかで楽しめるボートセILINGや、カヌーなどの水上レクリエーションが行われていますが、水上バイク、水上スキーなどの動力船を用いたレクリエーション活動は周囲に及ぼす影響も大きく、他の河川利用者との利用調整や漁業への支障が課題となっています。
- ・市街地の小河川は釣りや水生生物の観察の場として、自然を利用した体験型のレクリエーションが楽しめる空間となっています。
- ・市街地の丘陵地の樹林地や社寺林は野生生物の生息の場であり、昆虫採集等によりそれらを学習できるなど、自然体験型のレクリエーション空間となっています。
- ・多度山の山頂に多度山上公園があり、ハイキングコースやキャンプ場などの自然とのふれあいができるレクリエーション空間となっています。

●市民の身近なレクリエーション活動に対応する緑

- ・市民にとって街区公園等の住区基幹公園はもっとも身近なレクリエーション空間です。桑名市（都市計画区域）には153箇所の住区基幹公園が開設され、身近なレクリエーションの場として利用されています。整備年度によっては施設の老朽化がみられ、今後、再整備等が必要なものもあります。
- ・都市公園の基準として、住区基幹公園である街区公園は誘致距離250m、近隣公園は誘致距離500m、地区公園は誘致距離1kmの範囲内で1箇所の割合で配置されます。住区基幹公園の配置状況として、桑名地域の市街化区域においては、街区公園は誘致距離圏内におおむね1箇所の割合で配置されていますが、近隣公園、地区公園は不足しています。
- ・土地区画整理等の宅地開発事業が進められている地区では、公園整備が行われ、適正な配置が計画されています。
- ・そのほか身近なレクリエーション空間としては、小中学校のグラウンドがあります。



街区公園

●広域的なレクリエーションに対応する緑

- ・総合公園等の都市基幹公園は、様々な機能を備えた公園であり、スポーツレクリエーションや憩いの場として様々な利用されています。
- ・広域的なレクリエーションの場として桑名市には九華公園、桑名市総合運動公園、多度運動公園、長島運動公園が整備されており、野球やテニス、サッカーなど、市民のみならず地域のスポーツレクリエーション施設として様々な利用されています。



桑名市総合運動公園

- ・木曾三川カルチャービレッジ輪中ドームなどを含む国営木曾三川公園の整備が進められていますが、今後の施設整備に大きな期待がされています。
- ・そのほかスポーツレクリエーションが行える広場や緑地としてゴルフ場などの民間施設もあります。



木曾三川カルチャービレッジ輪中ドーム

③防災系統

●自然災害を軽減する緑

- ・桑名市の山間部及び丘陵部の水田は、河川からの灌漑が困難なため、ため池から灌漑しており、農業用水を安定的に確保できるよう維持管理がなされています。また、これらのため池は降雨時の調整池の機能も果たしています。このため、今後ため池を保全し、維持管理を行うことが必要です。
- ・市街地内の丘陵地、多度大社周辺の丘陵地、市域南部の丘陵地などにおける樹林地は、保水機能を有する重要な緑として治水対策上、保全と維持管理が必要です。
- ・桑名市には保安林に指定されている樹林地もあり、保安林としての機能を保持するために適正な維持管理が必要です。
- ・山林、農地は雨水を保水して河川への急激な流出を抑制したり土砂の流出を軽減するなど、防災機能を有しており、今後とも保全及び適正な維持管理が必要です。

●市街地の災害等を軽減する緑

- ・広幅員（15m以上）の道路は防火機能を有する道路であり、さらに街路樹の植栽を行うことで、防火のみならず、騒音の軽減にもつながります（現在都市計画道路で幅員が15m以上ある道路は26路線）。
- ・市街地を流れる河川は延焼防止機能を有する緑（水辺）となっています。
- ・東名阪自動車道周辺の丘陵地及び緑地帯、鉄道沿線の緑地は騒音防止の機能を有する緑となっています。
- ・工場などの周囲に整備された緑地は、騒音や災害等を軽減する緩衝緑地としてだけでなく、工場地帯の景観形成や隣接する自然と共生する緑地となっています。

●避難場所として機能する緑

- ・桑名市では地域防災計画により避難所及び一時避難地等を指定しています。避難所は主に小中学校や公民館、消防団詰所等の施設で、一次避難地は公園や広場等のオープンスペースを指定しています。
- ・広幅員の道路は、避難経路としての機能を有するため、防火や延焼防止機能を有する街路樹等の充実を図っていくことが必要です。